

▼最優秀賞受賞作品（ジュニア部門・詩）

風

児玉明彦

風は吹く
心が揺らぐ
何かをつかもうとして
人生という長い道を
一歩ずつゆっくりと歩いてきたが
「自分はどこへ辿り着くのだろうか……」
風は答えない
でも自分に何かを伝えるように
風は吹く
「まだ分からなくていいか……」
今はただ歩くだけでいい
道はまだ続いているのだから
追い風でもいい
向かい風でもいい
自分のために吹いてくれているのだから

▼最優秀賞受賞作品（ジュニア部門・短歌）

大道竜基

信綱の産まれた家の産湯の井今もわいている信綱の水

▼最優秀賞受賞作品（ジュニア部門・俳句川柳）

廣田野乃佳

干してある体操服に赤とんぼ